Story.4

菊の節句に、日本の伝統と料理で感謝を伝える おもてなし 和ウエディング

長森 勇多さん＆奈々さんの結婚式

石川 *Ishikawa*

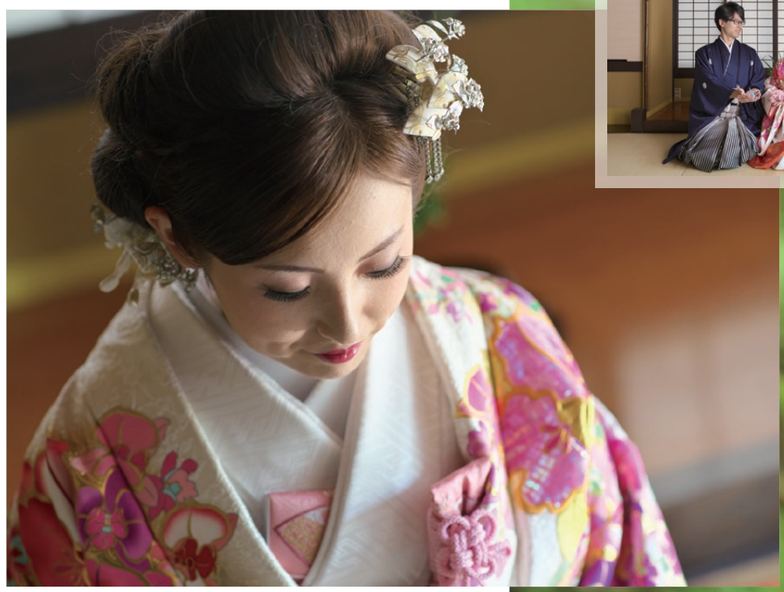
*Location*_白山比咩神社、和田屋

*Guests*_38名　*Date*_9.9

9月9日は重陽の節句。秋季のひなまつりにちなんで結婚式のテーマは「秋雛祝言」

重陽（ちょうよう）の節句である9月9日は、五節句の一つ。別名「菊の節句」とも呼ばれる縁起の良い日で、かつては雛人形を飾り、女性の長寿や健康を願う風習があったそう。そんなおめでたい日に、石川・鶴来で二人の結婚式が執り行われた。挙式前の写真撮影では、二人とも凛とした表情に！

緊張していた私の隣で、いつも通り穏やかに笑う彼。
そんな彼を見てたら、いつの間にか不思議とリラックスしてきました



新婦が一目惚れ！大好きなピンク色を使った豪華絢爛な色打掛

奈々さんが選んだ色打掛は、友禅作家・秋山章氏による華やかな一枚。「ピンク色が好き！」という奈々さんがひと目見て気に入ったものだそう。鮮やかなツツジ色に染められた螺鈿箔（らでんはく）が美しい色打掛に合わせて、髪には象牙のかんざしをコーディネート。格調高い花嫁スタイルが完成した。

和田屋での披露宴がスタート。憧れだったお父さんとの入場は胸がいっぱいに！

「幼い時から、お父さんとバージンロードを歩くのにも憧れていたんです。腕を組んだ時、いつも笑顔のお父さんが泣きそうで。私もうれしくてたまらなかった」と奈々さん。会場の和の雰囲気に合わせて、奈々さんが和紙や水引で手作りした席次表は、ゲストから「かわいい！」と好評だった。

先輩花嫁から習って手作りしたアイシングクッキーでファーストバイト

プランナーの淳子さんの紹介で、先輩花嫁にアイシングクッキーを習った奈々さん。手作りしたデイジーの形のクッキーを、二人でカラフルな羊羹へトッピング！羊羹は、二人が初めてのデートで訪れた21世紀美術館の「加賀友禅の壁」をモチーフにしたもの。装花のピンポン菊も和の雰囲気にぴったり。

参拝に来ていた人たちがみんな拍手で祝福してくれて！
うれしくて、あたたかくて、幸せな時間でした

鳥居をくぐり、参拝客に見守られながら神殿へ。厳かに神前式が執り行われた

白山比咩神社は、勇多さんが毎年家族で初詣に訪れている馴染みのある場所。参進の儀が始まり、あたりを見渡すと、参拝に来ていた人たちもみんなニコニコうれしそう！「おめでとうさん」、「花嫁さんキレイやねぇ」と祝福の声が飛び交う中、二人とゲストたちは神殿へと進んでいった。

囲炉裏で焼いた川魚や四季折々の山菜を使った料理でゲストをもてなす

二人の結婚式で、150年の歴史を持つ「和田家」の料理を味わってもらうことは、ゲストへのおもてなしの中で一番大切にしたこと。囲炉裏で焼いた鮎や採れたての山菜など、素材の味を最大限に活かした料理は、ゲスト全員が「こんな美味しい料理初めて！」と大絶賛。

Great!

新郎の叔父さんの仕舞に息を呑む。婚姻届のサインやプレゼントなどゲストに感謝を伝えるシーンも

「初めて見る叔父さんの仕舞、すごくかっこよくて見惚れてしまいました！」と勇多さん。その他にも、証人として勇多さんのお兄さんたちに婚姻届のサインをしてもらったり、二人の恋のキューピットと誕生日の友人にプレゼントを渡したりと、お世話になった人たちへ二人らしく感謝を伝えた。

Progress table

6:45	和田家でお支度開始
8:45	花貝あわせの儀
9:00	和田家にて撮影
9:45	撮影しながら、白山比咩神社へ移動
10:00	白山比咩神社境内に到着
10:15	参進の儀
11:00	挙式開始
11:40	親族集合写真
11:50	参列者受付
12:15	披露宴開始 入場 羊羹セレモニー ウエルカムスピーチ 三つ組杯の儀　謡「高砂」 引き杯、乾杯、料理紹介 婚姻届 証人サイン 謡・仕舞の披露
13:20	お色直し入場 鏡開き、テーブルフォト 大鯛の唐蒸し フリーマイク 両親へ記念品贈呈 新郎父謝辞・新郎謝辞 結びの大杯の儀　謡「千秋楽」
14:45	お開き、送賓

鏡開きからの運だめし！そして両親へオリジナルの「金澤祝言こぼし」をプレゼント

オリジナルの水引こも樽は、テーマカラーのグラデーションで編んだピンポン菊のデザイン。中には「花みくじ」が入っていて、鏡開きの後はゲストにおみくじを引いてもらった。結びに二人の衣裳柄を描いたこぼしを両親へプレゼント。「これを見て、結婚式のことを思い出してくれるといいな」と奈々さん。

何年経っても色褪せない場所でじっくり感謝を伝える一日に

「結婚式はハワイがいいなぁ。だって新婚旅行もできるし、リゾートってステキじゃん！」。二人の当初の希望は、神前式や料理旅館での食事会とはかけ離れたものでした。しかし、勇多さんの両親が望んだのは、これまでお世話になった人を招待する場としての結婚式。海外に行きたい気持ちと、両親の思いとの間で、二人はひたすら悩む日々が続いていました。

そんな二人を導いてくれたのは、「金澤ｓｙｕｇｅｎ」のプランナーの淳子さんでした。「そもそも、私たちは自分たちが楽しめればいいとしか考えてなかったんです。でも、お世話になった人にきちんとおもてなしをして、感謝を伝えるのが結婚式の役目。その大切さを、淳子さんが教えてくれました」。リゾート地では、美しい写真も撮れるし観光も楽しめる。でも、それは結婚式の場じゃなくてもいいと気づいたのです。感謝を伝えたい人みんなが揃う場所、両親が喜んでくれる場所、そして式後も何度でも訪れることができ、「あの日は楽しかったね」って思える場所で、最高のおもてなしをしたい。そう考えた二人は、勇多さんが家族と毎年初詣に訪れる、白山比咩神社での式を決めたのでした。

結婚式当日、参拝客から祝福を受ける二人を見て両親たちは微笑み、食事会では美味しい料理に会話を弾ませます。「いつも」を切り取ったように穏やかに流れた時間の中で、じっくりゆっくり感謝を伝えた一日は、二人から家族への恩返しとなったのでした。

「毎年、初詣は家族みんなで比咩神社さんに行って、祝い事がある時は和田屋さんで食事をするんです。今はそれが僕たち家族にとって、結婚式という素敵な一日を思い出す、大切な時間になってますね」と、二人は幸せそうに話してくれました。

Thanks!

Produced by

金澤syugen
淳子さん

問い合わせ／076-214-4555
金沢市泉野出町2丁目22-6
サンルックスビル2F
http://www.kanazawa-syugen.jp
プロデュースエリア／石川県

重陽の節句にちなみ、秋雛と菊をポップに愛らしくさしこみました

挙式前にゆったりと撮影が叶いました。クラシカルな象牙かんざしでは清楚で可憐に、お衣装柄にあわせた胡蝶蘭のグラデーションでは斬新で艶やかにコーディネートしました。

*Place*_白山比咩神社、和田家
*Assistant producer*_山上睦代
*Costume*_ブライダルみつ和
*Hair&Make*_ELLE chere
*Photographer*_大桑史
*Flower*_花のアトリエ こすもす
*Special Thanks*_先輩花嫁　多賀祐子